

## 全国支部長・委員長会記録

開催日 平成20年1月10日(木) 14:00

場 所 虎ノ門パストラル3F(すいせんの間)

出席者 木原理事長

阿部・北海道支部長、岩谷・東北支部長、  
酒匂・東京支部長、渋井・新潟支部長、  
川口・東海支部長、小野・大阪支部長、  
浅利・中国支部長、木村・九州支部長、  
高木・総務委員長、高橋・統計委員長、  
柘野、染宮・事務局

議 題

1. 平成20年賀詞交歓会について
2. 第33期通常総会について
3. 生産性委員会活動報告
4. 組合ホームページについて
5. 今後の会議予定

経 過

### 1. 平成20年賀詞交歓会について

今年の鉄鋼流通団体合同の賀詞交歓会は、全国鉄鋼販売業連合会が幹事役のため、式次第は以下通り。

・次第 司会	飯塚守男・東鉄連副会長
開会挨拶	林 喜裕・全鉄連会長
来賓祝辞	石川正樹・経産省製造産業局鉄鋼課長
乾杯挨拶	宗岡正二・鉄鋼産業懇談会会長
中締め	西村達夫・東鉄連会長

・出席予定者は約650名(招待40、メーカー・商社120、会員490名)で、昨年並の出席者数。

### 2. 第33期通常総会について

総会の開催内容については一部未定の部分はあるが、概要は以下のとおりである。各社へのご案内は2月中旬の予定。なお、ゴ

ルフについては、前年度同様、賛助会員にもご案内する。

#### ①総会

開催日 平成20年5月23日(金) 15:00  
時 間 15:00 第33期総会 4階 鶴の間  
16:30 講演会 4階 鶴の間  
18:00 総会懇親会 3階 孔雀の間  
場 所 ホテル日航金沢  
〒920-0853 金沢市本町2-15-1  
TEL: 076-234-1111

#### ②講演会

講 師 志方俊之(帝京大学教授、防衛問題評論家)  
テーマ 「日本を取り巻く外交・防衛問題の現状」

#### ③懇親会及び会費

パーティ 円卓形式(卓盛)  
参加費 組合員は1社1人は無料、2人目から1人8千円  
賛助会員は無料(但し、出席は1社2名まで)

#### ④交通

JR 金沢駅東口から徒歩3分  
小松空港から金沢駅行きバスで約40分、金沢駅東口下車

#### ⑤宿泊

ホテル日航金沢 シングル 15,000円(朝食付、税サ込)  
ツイン 25,000円(2名朝食付、税サ込)

#### ⑥ゴルフ

開催日 平成20年5月24日(土)  
場 所 片山津ゴルフ倶楽部 白山コース  
〒922-0401 石川県加賀市新保町ト1の1  
TEL: 0761-74-0810  
交 通 ホテル日航金沢よりバス手配、約1時間。  
帰路もゴルフ場よりバス手配。  
会 費 1人7千円(賞品代、パーティ代、バス代)

ゴルフ場直行の場合は1人5千円

プレー代 ビジターは税込み26千円程度、各自清算のこと。

#### ⑦観 光

金沢駅を起点とした定期観光バスのコースをいくつか参考までに提示するに止め、自由参加の形にする。

#### ⑧申込み

2月中旬頃に案内状・申込書を発送予定

### 3. 生産性委員会活動報告

10月理事会及び12月総務委員会に報告し了承された、標記生産性委員会（委員長：㈱山崎シャーリング 山崎社長）の活動概要（東京支部生産性委員会が対応）に関し、以下のとおり報告を行った。

#### (1) (社)鋼構造協会「鋼材切断面の品質標準の作成委員会」への参画

・標記品質標準の改訂は、昨年11月に原案がまとまり、同原案を全組合員に送付（11/6）。現在、再度督促を実施（12/27）するとともに、すでに寄せられている各社の意見・質問を取りまとめ中である。

・本件は、標記「作成委員会」で本年2～3月にかけて検討を行い、内容を確定して、4月に最終版を発刊する予定である。

#### (2) 日本溶接協会の「厚板切断に関するQ&A」作成研究会への参画

・日本溶接協会内のWGで進めてきた、標記Q&Aの見直し作業が昨年末に完了、現在、印刷・製本中である。印刷ができ次第（1月末）、事務局より全組合員あて送付する予定である。

#### (3) 「粉じん障害防止規則」改正への対応

・生産性委員会は、昨年7月以降、厚労省の粉じん規則の見直し・改正の動きに対応し、厚労省及び日本溶接協会と意見・情報交換を重ねてきた。当委員会は、10月理事会の承認を得て、厚労省に対し、当組合としての粉じん作業の考え方及び作業定

義案を提示した（11/16）。定義案は以下の通りである。

①規則中の「金属を溶断し。」には、熱エネルギーにより、金属を溶かしながら切断するものをいい、ガス溶断、プラズマ溶断、レーザー溶断等がある。

②「金属を溶断する作業」とは、溶断機による溶断中に、火口直近に近づき、粉じんに暴露する恐れのある作業をいい、自動溶断機の火口から離れた操作盤作業、溶断作業に付帯する材料の切断定盤への搬入作業、製品の集積、梱包、搬出作業及び片付け作業は含まない。

・この定義案は、今後、厚労省の実測・検討を経て、妥当と判断されれば、「粉じん障害防止規則の解説」書の中に盛り込まれることになる。

・厚労省は、12月4日付け官報にて、現行規則（別表第1の20）から、ただし書（屋内において、自動溶断し、又は自動溶接する作業を除く。）を削除することを公示。

・また、厚労省は1月10日、自動溶断中に、粉じんに暴露する作業、暴露しない作業を確認するため、粉じん作業濃度測定を実施（JFE鋼材東京事業所が対応）。

・3月1日、改正粉じん障害防止規則の施行。

#### 4. 組合ホームページについて

当組合のHP作成に携わってきた(株)横河技術情報・染宮課長より、昨年10月以降構築に着手している、鉄鋼流通4団体の共同サイトの進捗状況および基本的考え方・導入効果等を中心に説明が行われた。

平成19年における当組合HPへのアクセス状況は、年間訪問者数が約12万人、月平均10,000人、1日平均300人となっている。

#### 5. 今後の会議会合予定

巻末の会合予定を参照

以上